

ループコントローラ (CX-Process ツール) ユーザー定義ブロックサンプル説明書

	バンク切換	
<p>計装フロー</p>		
<p>配線図</p>		
<p>解説</p>	<p>制御対象の特性の変化に追従して、最大8セット記憶されたPID調節計のパラメータ(LSP・P・I・D・MH・ML)を自動切換えします。バンク切換条件としては、PVのゾーンに応じて自動切換え、接点による切換、バンクNo.指定による切換、が選択できます。接続先PIDブロックのPIDパラメータをチューニングして、その結果のPIDパラメータを、本ブロックのPIDパラメータとして記憶させることも可能です。接続先PIDブロックとして、<011>基本PID、<012>高度PID、又は<013>ブレンドPIDのいずれかを、ITEM011で指定します。</p> <p><用途例></p> <p>品種変更に伴い、SP・P・I・Dなどの変更を要する場合。 PVの変化(昇温など)、プログラム設定ブロックのステップNo.の歩進等に応じて、PID定数を自動切換えする。 運転条件の変更、工程の変更に伴ってSP値を変更する。 など</p> <p>上記計装フローの例は、測定温度をいくつかのゾーンに分け、ゾーン毎にPIDパラメータの切換を行うことで、反応進行に伴って変化するプロセス特性に対し、最適な制御を実現しようとするものです。</p>	